

タイ国においては、現在、新型コロナウイルスの市中感染の拡大は概ね抑えられていますが、海外からの入国者に感染者が若干みられています。その様な中、条件付きで有りますが、外国人の入国を少しずつ受け入れていて、徐々に経済活動再開に向かっていきます。

日本人会と致しましても、未だ日本へ一時帰国されて、戻れない方が数名おられますが、会としての活動を進めております。

10日には、『ビザセミナー』、24日には『遺族年金勉強会』を予定しています。

皆様方のご参加をよろしくお願いいたします。 会長 小杉 誠輝より

## 10月10日(土)は 安全対策連絡協議会を開催します

チェンマイ領事館より、瀬田領事と井上領事が来られて、意見交換を行います。

皆様方のご参加をお願い致します。

- 日時 2020年10月10日(土) 9:30~10:30
- 実施場所 **WIANG INN HOTEL CHIANG RAI ChiangSaenRoom**

開始前に血糖値の無料検査サービスを行います。ご希望の方は、朝食を食べないでお越しください。

また、新型コロナ感染予防のため、マスクの着用をお願いいたします。

# 引き続き⇒ビザセミナー開催

●時間 11:00～12:00

●実施場所は安全対策連絡協議会と同じ会場になります。

当日はチェンライイミグレーションより、ビザの担当管が来られて、

最新のビザ申請に関する説明があります。

お聴き逃しのない無いように皆様方のご出席をお願いいたします。

終了後、日本食レストラン『作』で、食事会を行います。

参加は自由です！！ どうぞお集まりください！！



10月24日(土)10:00～12:00

『遺族年金勉強会』を実施します

●実施場所 日本人会事務局 107/12 Moo 20 T.Robwiang  
A.Muang ChiangRai Tel 085-8064571(小杉)

現在、日本人の平均寿命は男性81歳、女性87歳です。

人は誰でも、年老いて行きます。そして、望まずとも、この世を去る時がやって来ます。

早く来る人も有れば、100歳以上長生き出来る人もいます。

そこで、あの世へ旅立つ前にきちんと準備を整え、今までお世話になった家族が困らないようにして上げることで、死後のことを心配すること無く、現世を安心してエンジョイ出来るようにしたいと考えます。

しかしながら、ほとんどの人はその時が来るまでなかなか行動を起こせない、具体的に何をすれば良いのか、気持ちの整理がつかないのが普通です。

そこで、会では行動を起こすきっかけとして、【遺族年金の会】を作り、エンディングノートや複雑で難解な遺族年金請求業務について、皆さんと一緒に勉強して行きたいと思えます。

【遺族年金の会】の主な業務として、本人又は本人の二親等(妻・親・子供・兄弟・祖父母・孫)からの依頼に基づき、承諾の上で次の事柄について手助けします。

- 1, 本人生前へのアドバイス(例えば:連絡先、預金口座、車など)
- 2, 死亡時の手助け(例えば:葬式、死亡登録証明書、除籍届けなど)
- 3, 遺族年金請求の補助(例えば:遺族年金請求書の作成など)
- 4, 遺族年金受給後の補助(例えば:現況届の記入など)

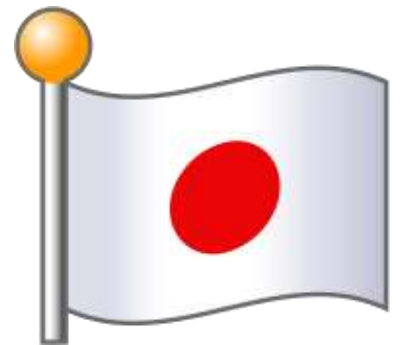
原則として、無報酬とし実費を負担していただきます。

- 1, 業務上発生した実費は全て、依頼者側が支払う。(例えば証明書料金、翻訳料、電話代、郵送料、コピー代、ガソリン代、食事代など)

●【遺族年金の会】には誰でも参加出来き、皆さんと一緒に勉強できます。

# 領事館情報

*Consulate General of JAPAN in Chiang Mai*



郵便事情等で現況届が届かない場合

郵便事情等で誕生月の中旬までに、年金機構から現況届が届かない場合には、日本年金機構からの郵便の到着を待たずに、年金機構のホームページから『年金受給権者現況届』を印刷し記入するか、手紙に、基礎年金番号、氏名、生年月日、住所及び理由(現況届が未着等)を記入し、領事館発行の『在留証明書』(発行日から6ヶ月間有効)を添付して提出出来ます。

## 海外居住者の現況届に添付する書類(在留証明、居住証明等)

海外に住所を有する年金受給者の方に毎年ご提出いただく「現況届」は、誕生月の末日が提出期限となっています。

(日本年金機構から年金受給者の方への現況届の送付時期は誕生月の前月末です。)

このたび、現況届に添付する書類(在留証明、居住証明等)は、誕生月を含めて過去6ヶ月以内に証明を受けたものが有効となりました。

なお、在留証明は日本国籍を有する方に交付される証明書です。交付申請には、日本年金機構より送付された現況届、年金証書、その他通知書の提示が必要です。

外国籍の人は、在留証明に代えて自国の戸籍、住民票に相当するもの、または第三者の証明(公的機関・公証人等の証明書またはサインがあるもの)の添付が必要です。

提出期限は誕生月の月末です。

イミグレーション情報

GHIANGRAI Immigration



Support Thai Wife 結婚ビザ (イミグレの窓口で配布しているメモを翻訳しました)

1. Visa Extension Form (Tm7) ビザ申請書 (Tm7)
2. Passport or Travel Documents パスポートまたは入国カード
3. Non-immigrant Visa ノンイミгранトビザ
4. Marriage Certificate if from abroad have to certified by The Embassy or Consulate in Thailand and Certificate of Family Certificate of Marriage 大使館又は領事館発行の戸籍証明書、タイ役場発行の家族状況証明書原本
5. Thai wife s ID Card 奥さんの ID カード
6. House register of Thai wife 奥さんのタビアーンバーン(賃貸契約書)
7. Children s Birth Certificate 子供の出生証明書
8. Letter from Thai Bank Certified Money in Thai account ( Aliens Name) more than 400000 Baht 2 months before and bank book OR  
40万バーツ以上の預金残高証明書(2ヶ月前から)、預金通帳



9.Income or Pension have to certified by The Embassy or Consulate in Thailand and show income more than 40000 Baht/month

1ヶ月4万バーツ以上の所得又は1ヶ月4万バーツ以上の年金(大使館又は領事館発行の証明書)

10.Map to Home 自宅までの経路

11.Current family photos at your present address 現在の家族(夫婦)の写真

## 情報 INFORMATION NEWS ข่าว

**役員会報告** 9月13日にオンラインで役員会を行いました。主な議題について報告致します。

『会員名簿』の取り扱いについて(閲覧要望の有った方にはメールで送る)。高齢者宅(80才以上)訪問について(順に家庭訪問する)。ビザセミナーについて(質問は事前に受ける)。遺族年金の会について(定期的に勉強会を開催する)。日本への一時帰国者について(メールや電話で現況を伺う)

## 新入会会員紹介

8月22日にチェンマイ領事館の出張領事が有りました。

その会場前で入会の受付を行いました。

お二人の方が入会されましたので紹介いたします。



なかむらきよみつ

中村 清光さん 福岡県出身 市内在住

趣味は将棋と囲碁です。話し相手が欲しいと思いい入会しました。

よろしく願いいたします。 中村 清光





みやざきあきお  
宮崎昭夫さん 東京都出身 パーン郡在住

この度日本人会に入会させて頂きました。

13歳の時に故郷長野の佐久を後に東京に出て  
66年が過ぎました、タイには25年ぐらい前に  
度々来ていました。故郷の匂いがするパーデート  
に住んでいます。ユーチューブで趣味の将棋を  
見たりしてすごしています。どうぞよろしくお願  
いいたします。 宮崎 昭夫

## 北部地区雑談会より

チェンライ象村 (ルミット村 メーコック財団子供施設にてバーベキューとカレー)





## 会員紹介

今回はメーヤオにお住まいの堀川守正ほりかわもりまさ(昭和17年、1942年生まれ)さんをご紹介します。9月5日にルミット村のメーコック財団の施設内で日本人会のバーベキュー会を行いました。その時にお忙しい中参加していただきました。



堀川さんは、若い時は通信士として日本沿岸で漁をする船に乗っておられました。下船されてからもその技術を生かして、当時、開発されたばかりの日本語ワードプロセッサを販売するために、新部所が出来、その責任者として携わってきました。

若い時にテレビで「兼高かおる世界の旅」が放映されていたのを毎回興味を持ってみていて、世界の様子や出来事に関心を持つようになりました。

そして、たまたまテレビで「チェンライの旅」が放映されていたのを見た時に、感動を受け、58歳の時に早期退職して、チェンライに来ました。

チェンライでは、山岳民族の子供を支援する団体にボランティア活動をしていました。そこで、寮から学校に送迎するバスの運転手をしていたタイ人男性と親しくなり、山地民の生活に特に興味があったので時々、訪問するようになったそうです。



ある時に彼の家に同居されていた彼のお姉さんを見初め、年の差が親子ぐらいあったが、日本の奥さんとは離婚されていたので、彼女と結婚することになり、彼女の村に住むことにしたようです。

現在、彼女は農作業や村の役員などをされていて、大変な働き者の奥さんで、頭が上がらないようですが、土地も買い増して、パイナップルや米を結構な面積で作っておられます。

ご自宅はコック川の上流で、移住された2001年頃は、道路も舗装されておらず、雨が降るとぬかるみ、車が動けなくなることもしばしばで、車には常にナタ(倒木を除去)、チェーン(坂道での滑り止めで使用)、鍬(タイヤが泥でスリップ、泥除去)を常備していたそうです。夕方、山道の坂道で車輪が溝にはまってしまい身動きが出来なくなってしまう、当日は、車を現場に置いて迎いに来てくれたバイクで帰宅、翌日朝に象で引っ張ってもらったことも有りました。

そのようなことで、2年前には「こんなところに日本人が」のA テレビ放送局のドキュメンタリー番組にも登場されたようです。

結婚されて、今年6月で19年目になり、今は奥さんの母親と奥さんと3人暮らしです。

# ニッポンからこんにちは



現在、平岩逸雄会員、中西英樹会員、長野基博会員、橋場弘長会員、古守康男会員が日本へ一時帰国されています。（他にどなたかおられましたらご連絡をお願いいたします）

今年の4月より、日本人会の行事に参加出来ない状況に有りますが、元気で過ごされていると思われまます。早くチェンライに戻る事が出来ますように切望しております。

中西英樹さんのブログ『チェンライの市場』<https://hidenaka24.hatenablog.com/>より:

一部抜粋『(中略)3月以来、何度かバンコク便の予約、キャンセルを繰り返してきたが、8月以降、航空券の予約はしていない。今年中は無理ではないかと考えている。』

平岩逸雄さんより:9月7日のメッセージでは、『早くチェンライに帰りたいのですが九州からは未だ飛行機が飛んでいないし色々難しい様なのでもう少し我慢して、秋の味覚を味わっています。今はぶどう、梨、栗が美味しいです。』

長野基博さんのブログ『チェンライ雑記帳』<http://meijin.air-nifty.com/>より:抜粋『(帰国20日目)8月18日に帰国して20日余り、やるべき事はまあまあのペースで進んでいる。今は、タイの状況は把握して無いが、いずれにしろ普通の方法では簡単に戻れると思っていないので、まだ日本に居る時間はタップリ有ると思う。なので、そんなに焦らずに過ごしている。』

## 会員からの投稿 一寸二杯

会員の中には「ビールやワインに日本酒は飲まないようにしているんだ!」とおっしゃる方がおられます。

その理由は醸造酒には「糖分が多い」ので、蒸留酒にされているようです。

そこで、蒸留酒で「安くて酔えるお酒」は何なのかを、私なりにコメントしたいと思います。

タイで一番安くて酔えるのは、村々にある蒸留所で酒税シールの貼ってない「ラオ」ですね。500mlのペットボトルだと30baht、700mlで50baht。一応アルコール度数は30度程度ですがアバウトのような感じがします。

それに品質的に不安で、健康的?ではないように思います。一寸話が脱線しますが、沖縄の「泡盛」をご存じでしょうか。その「泡盛」の原材料がタイ産のコメを使用していることはご存じでしょうか。タイ米で蒸留して製品化したものに限って「泡盛」と言えるのです。ですから沖縄で国産米で蒸留すると「米焼酎」ということになります。

さて、本題に戻って「安く酔える酒」の話ですが、最近コンビニの「セブンイレブン」でも「ラオ」を置いています。写真のものですが、625mlの赤ラベルと青ラベルがあります。赤ラベルがアルコール度数35度、青ラベルが40度です。もちろん値段も違って赤ラベルが110baht、40度の青ラベルが125bahtですから、コスバでいえば青ラベルがお勧めです。味は微妙に違いますが、通常の「ラオ」と比べると「ツアー」とくるえぐい匂いはなく、滅茶飲みやすく、40度の方が味があります。オンザロックや炭酸割するのであれば青ラベルがお勧めです。私の村の雑貨屋さんでは赤ラベル100baht、青ラベルが110bahtで売ってくれています。まとめ買いされるんでした15bahtの違いは大きいので、成岡まで

お電話下さい。095-678-2087





## 白内障手術 体験記

50歳台で一度白内障が出ていると眼科で言われましたが、進行が遅いので手術は必要ないと言われていましたが、最近左目に霞が掛かったりレースのカーテンがかかったようになり目まいもしたので、白内障の手術を受けることにしました。メーサイでは手術ができないので手術のできるチェンライのシーブリン病院に行きました。

8月1日(土)午後2時過ぎに病院に到着。すぐに病室に案内される3階のきれいな個室、入院患者はいないようだ。VIPやプレミアムの部屋ばかりだ。6時頃から目を開く薬が点眼される。夕食も来る。薬の点眼が3回される、通常4回だが薬の効きがいいから3回にされた。7時過ぎに担架車が迎えに来る。手術室の在る1階まで行く。手術寝台に移りオペが本格的に始まる。執刀医は今まで2回検査に立ち会った医師だ。何回も薬が点眼されたがいつ麻酔をかけられるか心配だった。注射での麻酔なのだろうから痛いに違いない。娘の花子も通訳として手術室に同行少し離れた場所に手術室着を着せられていた。やがて注射器で目の中に麻酔剤が投与された10秒近く激痛が走った。思ったらすぐに出刀、自分の水晶体を削り取り人口の物と取り換える作業が始まった。痛みはないのだけれど違和感を敏感に感じてしまい体に力が入ってしまう。そのたびにびくんと顎が上がってしまう。医師がタイ語で顎を引くようにと言う、その都度花子が顎を引いてと通訳する。自分ではそのつもりは無いのだけれど顎が上がってしまうのだろう。もっと左側を向くようにという指示も何回かあった。やがて人工の水晶体がはめ込まれたのだろう目の中にゴロゴロした違和感がある。大きな異物が入った感じだ。その違和感は5日くらいで取れるが麻酔時の注射針の痛みはその後も続いた。1週間すると見え具合がずい分回復してきた。2週間するともっと良く成ると期待している。……

病院へはメーサイで1度予備検査、チェンライで検査1回、そして手術、1週間後にチェック計4回通った。次回は1か月後に再度チェック。掛かった費用は検査4,000、36,000入院、手術計40,000バーツでした。

結果、1週間で視力が回復8割程度、遠視乱視のメガネが不要になった。あとは日ごとに回復を期待する。

2020年8月 とべじろう

## 一寸三杯

チェンライ日本人会会員の多くは、タイに何度も仕事や観光で来られ、結果タイにはまって「タイ永住を決意」された方が多いと思います。そして、訪タイ土産として「タイ産ウイスキー」の「Mekhong メコン」を手土産として日本に持って帰られた方も多いのではないのでしょうか？私もその口です。700mlが420baht(現在の市販価格で、空港ではもっと高いでしょう)と結構高値ですよね。もちろんウイスキーの本場の、ヨーロッパのものと同比べれば滅茶安いですよね。ところで、この「メコン」が実は焼酎だったのはご存じでしょうか。コメとサトウキビの廃糖蜜を原料にして連続蒸留した、日本でいう甲類焼酎で、酒類ではスピリッツ類になります。そこで、もう少し安い「ウイスキー」はないかと探すと「Hongthong ホントーン」がありますね。これも「メコン」と同じようにウイスキーもどきの焼酎なんですが、値段は「メコン」の6割の260bahtです。それでも高いと思う私は、今新しく発売されている「Yoohngthong ヨントーン」(何か「ホントーン」のまがい物っぽいネーミングですね)というのを見つけました。量は700mlと同じですが、アルコール度数は30度と低めで、「メコン」の半値以下の195bahtです。果たしてどれが「健康的」なのか分かりません。ただ日本でも焼酎の甲類・乙類(乙類は本格焼酎ということが多い)があり、後者の方が旨味があり、悪酔いしにくいと言われています。もちろんその分高価なのが一般的です。さて、異国の地のチェンライの田舎では、バンコクのような大都会のように、気軽に飲みに行けないので「家飲み」すなわち晩酌になると思いますが、「酒は百薬の長」と言いますが、「過ぎたるは猶及ばざるが如し」で、ほどほどに止めておくのが良いのでしょうかね。



文:成岡卓翁